

# 第4次企業局経営5か年計画

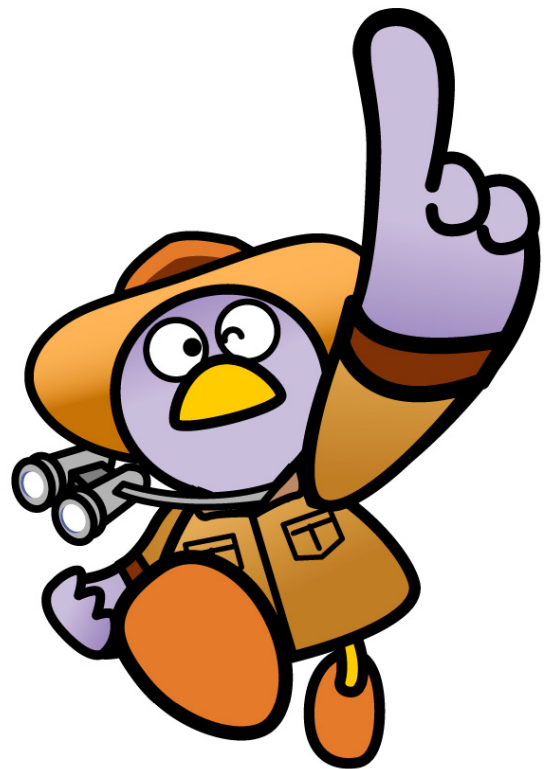
平成29年度～平成33年度



<日本一の長さを誇る荒川水管橋とコスモス>

平成29年3月





## はじめに

企業局では、工業用水道事業、水道用水供給事業及び地域整備事業の3つの事業を経営していますが、それぞれが今大きな課題に直面しています。

工業用水道事業については、都市化の進展に伴い工場からマンションへの転換が進む中で、工業用水の利用が減少しています。

水道用水供給事業についても、節水技術や人々の節水意識の向上に加え、今後は人口減少が進むことから、水需要の減少は不可避のものとなっています。

一方で、両事業ともに施設・設備の老朽化対策、大規模災害に備えるための耐震化については、待ったなしの状況にあります。

地域整備事業については、現時点では産業団地の整備・分譲は順調に推移していますが、経済の先行きが不透明な中、こうした状況がいつまでも続くとは考えられません。

このように経営を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中で、今後も健全経営を維持し、経営基盤を強化していくため、第4次企業局経営5か年計画を策定しました。

本計画では、計画全体を貫く経営の基本方針を「事業の選択と経営資源の集中」「収支均衡による健全経営の維持」「更なる経営基盤の強化」とし、この基本方針の下、事業ごとに経営目標を定め、この目標を達成すべく経営状況の分析やSWOT分析を行いました。

これらの分析結果を踏まえて、施策の方向性と具体的な数値目標を定め、さらに目標達成のために工水供給エリアにおける産業団地整備による新規受水契約の獲得や雑用水供給による新たな需要の開拓、水道施設・設備のダウンサイジング、スピーディーな産業団地整備などに取り組むこととしています。

人口減少や異次元の高齢化が進む中で、今後我が国を待ち受けるのは、従来のモデルや経験則が通用しない未知の世界であり、そこでは自ら新しいモデルを構築し、道を切り拓いていかなければなりません。

企業局といたしましては、こうした時代の大きな変化を、人材、施設や設備、資金、ノウハウといった企業局の持つ経営資源を総動員して乗り越え、県民生活の安心・安全の確保や県内産業の振興といった企業局に与えられた使命をしっかりと果たしてまいりたい所存です。

平成29年3月

埼玉県公営企業管理者 奥野 立



## 目 次

---

第 1 章	経営計画策定の趣旨	
1	目 的	1
2	計画の位置付け	1
3	計画期間	1
第 2 章	これまでの経営改革	
1	工業用水道事業	2
2	水道用水供給事業	5
3	地域整備事業	8
4	職員定数	11
第 3 章	経営の基本方針	
	経営の 3 本柱	12
第 4 章	事業計画	
1	事業計画の構成	14
2	工業用水道事業	15
3	水道用水供給事業	43
4	地域整備事業	83
第 5 章	計画の実行	
1	人材開発	100
2	予算との連動	100
3	マネジメントサイクル	100
4	外部評価の実施	100
<資料編>		
1	投資・財政計画	102
2	事業の廃止・撤退	106
3	用語解説	108